

諮 問 事 項

1 平成 25 年度使用教科用図書の採択基準及び調査研究について

(1) 平成 25 年度使用学校教育法附則第 9 条教科用図書について

平成25年度使用学校教育法附則第9条の規定による
特別支援学校・学級における教科用図書採択基準

【採択の原則】

学校教育法附則第9条に規定する教科書を採択・使用することのできるのは、特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級のみである。

学校教育法附則第9条の規定による教科書については毎年採択替えをすることができる。
(参考：教科書採択事務取扱要領 文部省 平成3年3月)

1 一般的基準

- (1) 教育基本法に定める教育の目的及び方針，学校教育法に定める当該学校の目標等に合致している。
- (2) 特別支援学校小・中学部学習指導要領（以下，学習指導要領という）に定める当該教科の目標に合致している。
- (3) 特定の政党や特定の宗派にかたよっていない。
- (4) 地域の実情及び児童・生徒の個に応じた指導に適合している。

2 調査研究項目及び調査研究基準

(1) 一般的内容

- ア 学習指導要領に示す教科の内容が含まれている。
- イ 内容の程度が，児童・生徒の障害の状況，心身の発達段階等に適応している。
- ウ 児童・生徒が，興味関心をもって学習できるように適切な配慮がなされている。
- エ 児童・生徒の生活の拡大に結びつけられる教材である。
- オ 誤りや不正確なところがなく，一面的な見解だけを取り上げている部分がない。

(2) 組織・配列

- ア 内容が理解しやすく，興味関心を高める組織・配列・分量である。
- イ 目次・索引・注記・凡例・図表・さし絵等が，教科書として使用する上で適している。

(3) 表現・体裁

- ア 漢字・かなづかい・ローマ字つづり・記号・用語・単位などが適切であり，児童・生徒に理解されやすいものである。
- イ 文字の大きさや表示等が適切で，色彩が鮮明である。
- ウ 製本の様式・材料・体裁等が適切で，丈夫である。

(4) 地方事情への適合

- ア 地域や学校の教育事情・自然的・経済的・文化的諸条件に適合している。

附則第9条教科用図書専門調査員会調査研究要領

1 調査の観点

- (1) 一般的内容
- (2) 組織・配列
- (3) 表現・体裁
- (4) 地方事情への適合

2 調査研究の仕方

- (1) 調査研究は、障害種、学校種、教科等に分けず一本化する。
- (2) 評価方法は、上記「調査の観点」ごとに記述式で行う。
- (3) 小・中学校（部）の調査員を同数とし、2人一組で調査研究をする。
- (4) 個人用調査結果表を作成する。
 - ・各自の分担図書について調査研究し、客観的に記述する。
 - ・個人調査用紙には調査員の氏名を書く。
- (5) まとめ用調査結果表を作成する。
 - ・個別に行った評価をつきあわせ、十分な協議を行った上で文言を推敲し、結果をパソコンに入力する。
- (6) 印刷した調査結果表を班長に確認してもらった後、各調査員の氏名を手書きし、押印する。
- (7) 押印した調査結果は、担当指導主事まで提出する。
- (8) 調査結果表をまとめ指定したフォルダーに保存するとともに、担当指導主事へメール送付する。

3 調査結果表の書き方

- (1) 発行者の記載の順序は、一般図書一覧の記載順による。
- (2) 発行者名（発行者コード）図書名（図書コード）は、一般図書一覧による。
- (3) 評価については、「附則第9条教科用図書採択基準」及び「附則第9条教科用図書用記述評価のための参考資料」をもとに、全ての項目を勘案しながら各観点ごとに評価を行う。

4 図書について

- (1) 総合教育センター内教科書センター（2階）へ行って借りてくる。
（持ち帰り不可）

5 その他

- (1) ペア毎に責任者を決める。
- (2) 本調査研究は、部外秘事項につき、特に秘密保持に留意する。
- (3) 不明な点ができた場合には、担当指導主事に相談する。
- (4) 第2回目の専門調査員会には、第1回目に配布した資料すべて、及び印鑑を持参する。
- (5) 採択基準、研究結果作成関係資料等の回収。

附則第9条教科用図書用記述評価のための参考資料

項 目		着、眼 点 等
1 一 般 的 内 容	基準内容	① 学習指導要領に示す学習内容が含まれているか。 ② さまざまな学習活動を促すようになっているか。 ③ いろいろな能力、態度等が養えるように考慮されているか。 ④ 内容に考え方の偏りがなく、全体として調和がとれているか。
	児童生徒の発達	① 内容や表現が、児童生徒の障害の状況、心身の発達段階に適切しているか。 ② 児童生徒に興味・関心をもたせ、自ら学ぶ意欲をかきたてる内容であるか。 ③ 児童生徒の生活とかかわりが深く、生活の拡大に結びついた内容であるか。 ④ 児童生徒の個性に応じて活用できる幅があるか。
	正 確	① 文字やその他の表現は正確であるか。 ② 事実に基づき科学的に正確であるか。 ③ 資料は信頼性のある適切なものであるか。
	現代の進歩	① 現代の社会及び個人の生活において要求されているところにそったものであるか。 ② 社会の変化に主体的に対応できる能力を養うことに配慮されているか。
2 組 織 ・ 配 列	配 列	① 配列が児童生徒の経験を積み上げる展開させるようになっているか。 ② 内容が前後の関連を保ち、かつ興味をそそるように変化に富んだ配列になっているか。 ③ 基礎的・基本的な内容を修得させる上で適切な事項に精選されているか。 ④ 他教科との関連がよく考慮されているか。
	分 量	① 分量が児童生徒の心身の発達からみて適当であるか。
	挿し絵	① 挿し絵、図表・写真等が適切に配置され、その数も十分であるか。 ② 挿し絵、写真等が、教科書として使用する上で適しているか。
3 表 現 ・ 体 裁	表 現	① 表現が明確、平易で魅力があり、児童生徒に親しまれやすいか。 ② しかけのあるものや、操作できるものなど、学習意欲が高まるような工夫がされているか。
	漢字かな	① かなづかい、漢字等の使用が適当であり、児童生徒に理解されやすいものであるか。
	文字の大きさ	① 文字の大きさは適切であるか。 ② 字体が適切であるか。 ③ 字間、行間が適当にとられているか。
	印刷効果	① 印刷が色彩豊かで鮮明で、児童生徒の心を引き付ける美しさを備えているか。
	材 料	① 安全な素材で、扱いやすく丈夫であるか。 ② 触覚、視覚、聴覚などを刺激する素材を使う等の工夫があるか。
4 地 方 事 情 へ の 適 合	学校施設・設備の実態	① 学校の施設・設備の実態に必ず幅があるか。 ② 児童生徒の経験を刺激し得るよう工夫されているか。 ③ 地方の状況や校外の自然及び設備を用いるように考慮されているか。
	学習環境その他	① 本県の気候、風土、自然環境に必ず幅があるか。 ② 本県の文化的特質に必ず幅があるか。 ③ 児童生徒の生活の地域的な特質に必ず幅があるか。
そ の 他		① 単価 ② シリーズ名等

調査研究結果表（附則第9条教科用図書） NO() 調査員氏名() ()

※ サンプルの内容は架空のものです。

発行者コード	発行者名	図書コード	書名	調査結果		その他（単価等）
07-2	株式会社 銀の星社	F06	だいすきおやつ作り	①一般的な内容	子どもにとって身近で関心の深いお菓子作りをテーマとしており簡単に調理できるものが多く記載されている。障害種別や程度を問わず、幅広く興味を持って見ることができる。各ページにテレビ番組で有名になったキャラクターが登場するのも魅力の一つである。	1,200円
				②組織・配列	イラストや写真を使用し視覚的に調理の方法を理解できるような構成になっており、興味を持ちやすい。	
				③表現・体裁	調理手順の説明は漢字を使用してはいるが、ふりがなを付けることにより対応できる。文字の大きさは大きめで読みやすい。	
				④地方事情への適合	調理をする場合、調理器具は調理室等に備えられており、簡単なお菓子作りの経験がある児童生徒は関心をもって取り組める。	
				①一般的な内容		
				②組織・配列		
				③表現・体裁		
				④地方事情への適合		
				①一般的な内容		
				②組織・配列		
				③表現・体裁		
				④地方事情への適合		